

# 第9章

## ポストコロニアル時代のグローバルな役割と グローバル化

ヨコハマ起業戦略コース

110384

田中 駆

# ●ヨーロッパのグローバルな**特殊性**と**結合**の変化

50年代～60年代と

70年代～80年代との大きな相違点

- ① **新たな特殊性**の誕生、従来のものの**変化**
- ② 脱植民地化後の**アジア・アフリカ**との**経済的・文化的結合**の変化
- ③ グローバル化の中での**新たな地位**の獲得
- ④ 移民**送出極**から移民**受入極**へ
- ⑤ **世界公衆**や**国際機関**の中での**重要性**の変化

# ●ヨーロッパの諸特殊性 ①

50年代～60年代

「経済成長のグローバルな栄光」

70年代～80年代

「世界のあらゆる地域の背後に後退」

工業の危機と衰退

人口増加率の低下

欧州共同体の国家介入に対する矛盾

文化面での特殊な発展（価値観・世俗化・ゲヴァルト）

超国家的機関・地域機構の特殊化

# ●ポストコロニアリズム ②

経済的従属は依然として存在

ヨーロッパ 工業製品・資本を輸出

旧植民地 原料・農業生産物を輸出、投資はヨーロッパからの貸付金で

国際的企業の重要性 ≠ 旧宗主国の政治的影響力の低下

英仏はコモンウェルス・フランコフォニーという形で保持に努める

言語を始めとする文化領域の要するヨーロッパ的諸価値観

ヨーロッパ的ライフスタイルの普及

米ソの圧倒的な影響力

経済主体としての旧植民地

文化的な相互交流

# ●グローバル化 ③④

大戦後、第3のグローバル化 ← グローバルな諸機関・貿易・通貨体制・学生運動

70年代までのアンビバレントなグローバル化

80年代以降にかけてのダイナミックな成長

外の市場への輸出・投資、国際的ヨーロッパ企業、技術の進歩

移住民の受け入れ極に

被庇護者の急増・非合法的な移住・高度能力者の移住

消費・ツーリズムのグローバル化

暗い側面の顕在化

# ●世界の公衆の中のヨーロッパ ⑤

ヨーロッパ・モデルの衰退（福祉国家・ハイカルチャー含）

米ソの圧倒的な影響力に隠れる

他の世界地域に対してクローズドな情報

他の世界地域に対する学問的・社会的関心の停滞

経済・文化の側面では重要なアクターの一角であり続けた

# ●グローバル化に対応しきれていないヨーロッパ

## 70年代から80年代

- 米ソの圧倒的な影響力
- 旧植民地との関係の変化
- 移民による国内の変化
- 企業単位でのグローバル化

## 暗い側面の顕在化

- 麻薬取引
- 人身売買
- 非合法的な移住
- 武器取引

## 精神的なグローバル化の未成熟

- 経済的・社会的・情報伝達技術の先行